

第2回まちなか広場賞

「もぶるテラス・みんなのひろば」

大賞受賞

(1) 地区概要

「もぶるテラス」と「みんなのひろば」は、松山市の中央商店街周辺（湊町三丁目）に、従来から要望の多かった憩いの場を、市の中心市街地賑わい再生社会実験事業として設置した施設。

計画段階から、市民参加のワークショップで検討を行なう等、従来型の行政主導ではなく、市民連携による検討が進められた。また、整備段階でも、「みんなのひろば」の芝張りを市民ワークショップで行ったり、「もぶるテラス」のガラス面に絵を描くワークショップを行ったりと、市民と連携して整備を行うことで、愛着を持ってもらえるような取り組みを実施した。

「もぶるテラス」は、公民学が連携してまちづくりを推進する施設である「松山アーバンデザインセンター（UDCM）」の1階に整備されているが、2階にはUDCMのまちづくりの専門家である愛媛大学の教授等が常駐し、松山市全体のまちづくりを研究するとともに、「もぶるテラス」、「みんなのひろば」を運営し、その効果検証や利用促進、今後の方向性等を検討・提案する役割を担っている。

このように、行政だけでなく、市民、商店街、大学等とも連携したまちづくりをすることによって、中心市街地に来街者や住民の居場所が創出され、子どもたちが広場を駆け回る姿や、大学生によるまちづくり活動等といった、従来、まちなかでは見られなかった姿が多く見られるようになり、地域の活性化に貢献する結果となった。

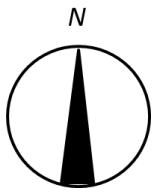


もぶるテラス(休日利用の様子)



みんなのひろば(土曜夜市時の様子)

もぶるテラス・みんなのひろば 位置図



大賞受賞地区
(もぶるテラス・みんなのひろば)

